

R8.4.30 研修参加者アンケートのまとめ

A:本日の研修で印象に残ったこと・内容をご記入ください。

1. 通級指導の実際と理解の深化

- ・通級は苦手な教科を個別に教える場ではなく、自立活動を行う場であることが分かった。
- ・眼球トレーニングや筆圧に応じた支援など、子どもに合った学びがあることを知った。

2. 学びの場の種類と特徴の理解

- ・通常学級・通級・特別支援学級それぞれの内容や違い、基準について具体的に理解できた。
- ・それぞれの学びの場の特徴や良さを知ることができた。

3. 一人一人に合った学びの重要性

- ・大切なのは手厚さではなく、子ども一人一人に合った学びの場を選ぶことであると学んだ。
- ・どの環境にいても、その子に適した学びが保障されることが重要であると感じた。

4. 保護者との連携と丁寧な支援

- ・保護者の思いを大切にしつつ、子どもにとって最適な学びを共に考え共有していくことの重要性を実感した。
- ・丁寧な説明が保護者の安心につながることを理解した。

5. 将来を見据えた長期的な支援の視点

- ・就学から就職までを見据えた長期的な支援の視点の重要性を学んだ。
- ・子どもや保護者一人一人に寄り添い、将来の見通しをもって支援していく必要性を感じた。

B:本日の学びや気づきを生かし、今後どのように取り組もうと思われませんか。

1. 就学先の理解と保護者への説明

- ・支援級や特別支援学校について理解を深め、保護者に分かりやすく伝えていく。
- ・この研修で学んだことを保護者と共有し、子どもに合った学びの場を一緒に考えていきたい。

2. 保護者に寄り添う丁寧な対応

- ・保護者対応を丁寧に行い、就学への不安や相談に寄り添っていく。
- ・個人面談や日々のやり取りの中で、小学校や園、市とのつながりを伝え、安心につなげていく。

3. 子どもの姿を丁寧に捉える視点

- ・子ども一人一人の姿をよく見て、困り感や得意なこと、好きなことを具体的に捉えていく。
- ・その子らしさを伝えながら、小学校でも楽しく過ごせるような環境づくりを支えていく。

4. 関係機関との連携と情報共有

- ・園・小学校・学校教育課・福祉部局（はぴいく）など、関係機関との情報共有や連携を大切にしていく。
- ・園での様子を保護者と共有しながら、丁寧な保育を進めていきたい。

5. 学びの共有と今後の支援への活用

- ・今回の学びを職員全体で共有し、今後の保育や就学支援に生かしていく。
- ・5歳児健診や発達相談など、さまざまな場面で学んだ内容を活用し、子どもと保護者に寄り添った支援を行っていく。